



岐阜県恵那市役所

岐阜県恵那市役所

<http://www.city.ena.gifu.jp/>

所在地：岐阜県恵那市長島町正家1丁目1番地1

職員数：約 990 名

平成 16 年 10 月 25 日に恵那市、岩村町、山岡町、

明智町、串原村、上矢作町の 6 市町村が合併し、

新・恵那市としてスタート

ソリューション：

決裁業務、文書管理業務の電子化

使用したアドビ製品：

Adobe® Document Server

Adobe® Acrobat®

使用したパートナー連携製品：

日立ソフトウェアエンジニアリング社

Renopulse®/Extension Client



恵那市役所 企画部情報課情報政策係 係長

小坂 喬峰氏

電子決裁、文書管理業務を支える Adobe PDF サーバソリューション

平成 16 年に 6 市町村合併によって誕生した新・恵那市では、全職員が電子決裁を利用するために PDF 作成環境を再構築。“広範囲の OS サポート”“サーバソフトウェアによるクライアント管理の低減”によりコストダウンを実現しました。

恵那市概要

恵那市は平成 11 年に役所内業務の電子化を目的とし、職員に 1 人 1 台の PC 環境を配備した内部情報システムを構築し、決裁業務や文書管理をすべて電子化して業務全体の効率化やペーパーレス化を推進することができました。また、同時に電子文書の共通プラットフォームを PDF に決定し、PDF 作成ソフトウェアとして Adobe Acrobat 4.0 を導入。Microsoft® Word・Microsoft Excel などの文書、スキャナで読み込んだ文書データの PDF 変換、財務会計システム等の業務アプリケーションでの直接 PDF への出力を行っています。Adobe Acrobat の導入により、役所内業務の電子決裁、電子文書管理の PDF プラットフォームはさらに整備されたといえます。

そして、この翌年には地方分権一括法が施行され、“住民に身近な総合的な行政主体である市町村の行財政基盤を強化していく”という方向性のもと、平成 16 年 7 月に恵那市・岩村町・山岡町・明智町・串原村・上矢作町の 6 市町村合併が決定し、平成 16 年 10 月 25 日の新・恵那市のスタートに向けてシステム統合など、IT インフラ整備への準備を進めることになりました。

直面した課題

新・恵那市での IT インフラ整備は、旧恵那市で稼働している電子決裁を使用することになったものの、PDF の作成環境という問題点が浮上してきました。恵那市役所 企画部情報課情報政策係 係長 小坂 喬峰氏は「恵那市以外の PC 環境では、Acrobat 導入は少なかった。新・恵那市スタートまでに全職員が PDF 作成できる環境整備を行うことになりました」と当時を振り返ります。

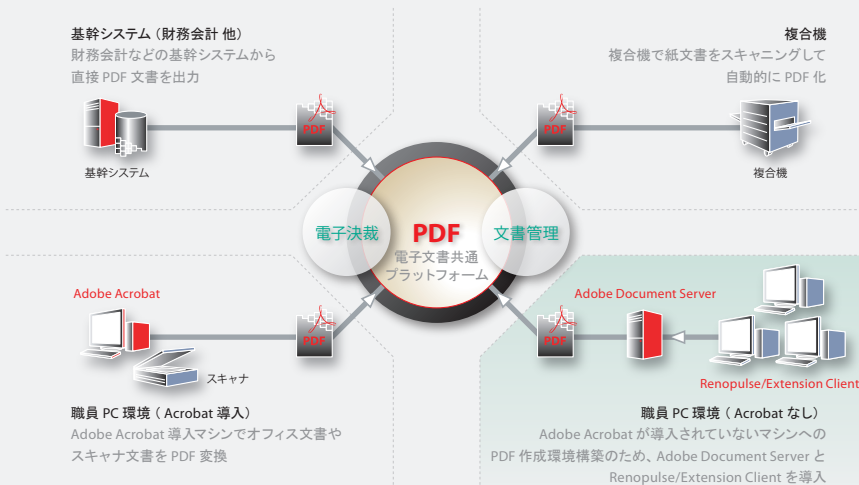
導入の決め手

新・恵那市の PC 環境整備を行うにあたり、まず PDF 作成ソフトウェアの選定が進められました。今回の導入対象となる PC は約 400 台、来年度には約 1,000 台の PC 入れ替えが予定されていたため、「ソフトウェアの導入コスト」「広範囲の Microsoft Windows® をサポートできること」を選定のポイントとし、Adobe Acrobat やアドビのサーバ製品、サードパーティの製品も含めた検討がなされました。「サーバソフトウェアである Adobe Document Server と日立ソフトウェアエンジニアリング社の Renopulse/Extension Client の組み合わせは、コスト面で魅力がありました」(小坂氏談)。

Adobe Document Server は、Adobe Acrobat と比べて利用できる機能は制限されているものの、PDF の作成や編集をサーバ環境で集中化できるため、利用者数が多いほどクライアント PC の管理負荷を低減でき、コストメリットが大きくなります。さらに Renopulse/Extension Client は、Adobe Document Server のユーザインターフェイス部分を提供・機能拡張したソフトウェアであるため、Microsoft Word・Microsoft Excel データをダイレクトに PDF 変換でき、さらに広範囲の Microsoft Windows をもサポートできます。

恵那市役所の電子文書共通基盤

電子決裁及び文書管理の共通基盤として PDF プラットフォーム環境を構築



「コスト面でのメリットが大きいこと、クライアントのライセンス管理が必要ないなどの理由から Adobe Document Server と Renopulse/Extension Client での導入を決めました」(小坂氏談)。

導入効果と展望

平成 16 年 10 月の新・恵那市誕生と同時に、PDF 作成システムはスタートしました。「稼動直後は、苦勞した部分もありましたが、現在では安定運用を続けています」(小坂氏談)。現在、システムはオフィス文書の PDF 変換部分のみで使用し、PDF 編集については Adobe Acrobat で対応するなど、利用用途に応じて使い分けを行っています。

また、今回の併用運用で新たな効果もありました。従来、紙文書をスキャナで読み込んで Adobe Acrobat で PDF 化した場合、高解像度設定のためにファイルサイズが大きくなります。しかし、Adobe Acrobat で PostScript® 形式に保存、Adobe Document Server で PDF 変換を行うことで約 1/10 まで圧縮が可能になりました。「細いネットワーク回線でのデータ転送や長期保管を考えた場合、ファイルサイズ圧縮は大変重要であり、別の効果がありました」(小坂氏談)。次年度の PC 入れ替えについても「Renopulse をすべてに導入する予定ですが、Acrobat からの完全移行ではなく、併用運用を続けていきます」と小坂氏はいいます。

恵那市では今後 PDF 変換以外の機能についても、Adobe Document Server および Renopulse/Extension Client での提供を希望。また、Adobe Acrobat で行っている複数 PDF ファイルの結合や回転処理、バイナリーファイルの PDF への直接添付処理など、PDF が持つ高度な編集機能についても Adobe Document Server および Renopulse/Extension Client による活用範囲拡大を検討し、さらなる導入効果を期待しています。

アドビシステムズ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎 1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー
www.adobe.co.jp

Adobe Systems Incorporated
345 Park Avenue, San Jose, CA 95110-2704 USA
www.adobe.com

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat および PostScript は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。Renopulse は、日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社の商標または登録商標です。Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。

© 2005 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Printed in Japan.
ASJCS136.5/05

